

EUREKA	星間塵表面における複雑有機物への分子進化 —新しい実験的アプローチ—	石橋篤季・日高宏・大場康弘・渡部直樹	293
	すばる HSC Y3 データの弱重力レンズ宇宙論解析	杉山素直・高田昌広・宮武広直	304
天球儀	自作卓上ホーンアンテナとソフトウェア無線機を用いた 中性水素 21 cm 輝線の検出	谷敷怜空	315
シリーズ: 2040 年代のスペース天文学へ	2040 年代のスペース天文学の創出	中澤知洋・榎戸輝揚	320
追 悼	佐藤明達氏	井田茂・岡村定矩・桜井隆・柴田一成・ 梅村雅之・山本智・加藤賢一	327
雑 報	日本天文学会早川幸男基金による渡航報告書 <i>Galaxy Formation in Hangzhou</i>	仲宇星	333
	日本天文学会早川幸男基金による渡航報告書 <i>CAST meeting in the Ludwig Maximilian University of Munich/group meeting in the Sapienza University of Rome</i>	大滝恒輝	335
書 評	星間空間の時代: ボイジャー太陽圏離脱への 40 年と科学・技術・人間の物語	津村耕司	337
寄贈図書リスト			338
月報だより			338

【表紙画像説明】

すばる Hyper Suprime-Cam (HSC) の 3 年度分のデータを使って得られた弱い重力レンズによる宇宙論パラメタの推定結果 (青色で 68%, 95% 信頼領域を示す)。競合観測である米国の Dark Energy Survey (DES) および欧州の Kilo-Degree Survey (KiDS) と同様に、宇宙マイクロ波背景放射 (CMB) 観測 (Planck 2018) からの推定値とはずれており、宇宙の標準模型の綻びを示す可能性がますます高まってきている。